

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成25年8月12日
【四半期会計期間】	第50期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社あじかん
【英訳名】	AHJIKAN CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中谷 登
【本店の所在の場所】	広島市西区商工センター七丁目3番9号
【電話番号】	(082)277-7010(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 業務推進本部長 兼 経営管理部長 樋口 研治
【最寄りの連絡場所】	広島市西区商工センター七丁目3番9号
【電話番号】	(082)277-7011(直通)
【事務連絡者氏名】	取締役 業務推進本部長 兼 経営管理部長 樋口 研治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第1四半期連結 累計期間	第50期 第1四半期連結 累計期間	第49期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	8,555,902	8,319,458	35,586,925
経常利益又は経常損失() (千円)	143,499	31,975	991,904
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失()(千円)	70,538	63,308	488,250
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	96,285	2,752	744,633
純資産額(千円)	8,805,230	9,349,776	9,453,578
総資産額(千円)	16,962,602	17,376,980	17,314,826
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額()(円)	9.27	8.32	64.15
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	51.9	53.8	54.6

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成24年12月の新政権発足以後、経済対策や金融政策の効果などを背景に、景況感に改善の兆しが見られたものの、海外経済の減速による影響が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明感を払拭しきれない状況で推移いたしました。

食品業界におきましても、長期化するデフレの影響から消費者の節約志向は依然として強く、低価格化による販売競争も激しさを増す一方で、急激な円安の進行に伴い輸入品価格が上昇するなど、業界を取巻く経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは第九次中期経営計画の2年目をスタートさせ、変化の激しい時代に対応するため、第一に「商品の研究開発と技術開発の強化」、第二に「営業基盤の拡充と市場開拓」、第三に「利益構造の改善」、第四に「全社供給体制の強化と効率化」、第五に「経営効率・経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを展開しております。

なお、セグメント別では、営業部門におきましては、「ちらし寿司の日」など各種イベントに合わせた販売活動や、既存顧客への深耕開拓を積極的に行ってまいりましたが、競合他社との激しい価格競争などから当社主要顧客であるスーパーマーケットやコンビニエンスストア向けの需要が減少するなど厳しい状況で推移いたしました。

また、中国関係会社工場での生産品や、海外の委託生産品のコスト上昇に加え、円安による影響で仕入原価が大きく上昇し、業績を圧迫する状況となっております。

一方、平成22年12月に新規事業の一環として立ち上げた「ごぼう茶」ならびにその関連製品の売上高につきましても、前年同四半期を上回る状況ではあるものの、当初見込みをやや下回る状況で推移いたしました。

他方、生産部門におきましては、省エネ活動などによる変動費の抑制を図ってまいりましたが、原油価格や穀物価格の高止まりに起因した副材料・補助材料費の上昇に加え、当社主要原材料である干瓢・椎茸の価格が、需給の関係から前年同四半期に比べ大きく上昇しており、製造原価を引き上げる要因となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,319百万円（前年同四半期比2.8%減少）、営業損失は106百万円（前年同四半期は営業利益175百万円）、経常損失は31百万円（前年同四半期は経常利益143百万円）となり、四半期純損失は63百万円（前年同四半期は四半期純利益70百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ62百万円増加し17,376百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ134百万円減少し9,394百万円となりました。主な減少要因は、受取手形及び売掛金の減少263百万円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ196百万円増加し7,982百万円となりました。主な増減要因は、用地取得に伴う土地の増加、有形・無形固定資産の減価償却の進行に伴う減少などであります。

（負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べ165百万円増加し8,027百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ105百万円減少し6,938百万円となりました。主な増減要因は、賞与引当金の増加211百万円、支払手形及び買掛金の増加107百万円、未払法人税等の減少220百万円などであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ271百万円増加し1,088百万円となりました。主な増減要因は、設備投資などに伴う長期借入金の増加300百万円、リース債務の返済に伴う減少13百万円などであります。

なお、当第1四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ305百万円増加し3,039百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ103百万円減少し9,349百万円となりました。主な増減要因は、為替換算調整勘定の増加102百万円、剰余金の配当による減少106百万円、四半期純損失の計上63百万円などです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.8ポイント減少し53.8%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、89百万円です。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	7,700,000	同左	東京証券取引所市場第二部	単元株式数 100株
計	7,700,000	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	7,700,000	-	1,102,250	-	1,098,990

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 88,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,610,900	76,109	-
単元未満株式	普通株式 200	-	-
発行済株式総数	7,700,000	-	-
総株主の議決権	-	76,109	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数(株)	他人名義所有株 式数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)あじかん	広島市西区商工セン ター七丁目3番9号	88,900	-	88,900	1.15
計	-	88,900	-	88,900	1.15

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,255,072	1,248,762
受取手形及び売掛金	5,247,003	4,983,651
商品及び製品	1,966,223	1,953,629
仕掛品	3,232	4,244
原材料及び貯蔵品	760,493	781,611
繰延税金資産	160,848	234,036
その他	287,030	380,141
貸倒引当金	151,201	191,645
流動資産合計	9,528,703	9,394,432
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,587,717	1,580,147
機械装置及び運搬具(純額)	1,109,733	1,094,657
土地	2,960,387	3,140,466
リース資産(純額)	74,473	68,344
その他(純額)	209,954	254,954
有形固定資産合計	5,942,267	6,138,570
無形固定資産		
ソフトウェア	111,746	107,567
リース資産	60,982	55,521
その他	27,098	29,496
無形固定資産合計	199,827	192,584
投資その他の資産		
投資有価証券	756,335	714,312
繰延税金資産	-	377
その他	922,058	980,441
貸倒引当金	34,366	43,739
投資その他の資産合計	1,644,027	1,651,392
固定資産合計	7,786,123	7,982,548
資産合計	17,314,826	17,376,980

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,568,839	2,675,913
短期借入金	2,512,300	2,518,000
リース債務	73,563	67,368
未払法人税等	318,883	98,243
賞与引当金	272,000	483,000
役員賞与引当金	31,117	11,204
その他	1,267,140	1,085,018
流動負債合計	7,043,844	6,938,747
固定負債		
長期借入金	221,000	521,000
リース債務	135,233	121,309
繰延税金負債	13,141	-
退職給付引当金	71,165	63,847
役員退職慰労引当金	329,342	334,637
資産除去債務	46,020	46,162
その他	1,500	1,500
固定負債合計	817,402	1,088,457
負債合計	7,861,247	8,027,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	7,153,656	6,983,792
自己株式	64,300	64,300
株主資本合計	9,290,596	9,120,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	177,696	149,561
繰延ヘッジ損益	-	8,357
為替換算調整勘定	14,713	87,839
その他の包括利益累計額合計	162,982	229,043
純資産合計	9,453,578	9,349,776
負債純資産合計	17,314,826	17,376,980

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	8,555,902	8,319,458
売上原価	6,427,683	6,336,436
売上総利益	2,128,218	1,983,021
販売費及び一般管理費	1,953,039	2,089,915
営業利益又は営業損失()	175,179	106,894
営業外収益		
受取利息	470	334
受取配当金	5,167	7,087
通貨スワップ評価益	9,710	-
長期為替予約評価益	-	58,450
持分法による投資利益	7,190	-
為替差益	-	19,160
その他	9,897	3,277
営業外収益合計	32,436	88,311
営業外費用		
支払利息	8,467	6,261
為替差損	22,049	-
長期為替予約評価損	32,976	-
持分法による投資損失	-	6,411
その他	622	719
営業外費用合計	64,116	13,392
経常利益又は経常損失()	143,499	31,975
特別利益		
投資有価証券売却益	895	-
特別利益合計	895	-
特別損失		
固定資産除却損	3,615	3,242
特別損失合計	3,615	3,242
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	140,779	35,217
法人税、住民税及び事業税	149,754	93,469
法人税等調整額	79,513	65,378
法人税等合計	70,240	28,091
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	70,538	63,308
四半期純利益又は四半期純損失()	70,538	63,308

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	70,538	63,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,146	28,134
繰延ヘッジ損益	-	8,357
為替換算調整勘定	38,881	73,507
持分法適用会社に対する持分相当額	25,012	29,045
その他の包括利益合計	25,747	66,061
四半期包括利益	96,285	2,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,285	2,752
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	15,503千円	9,131千円
支払手形	116,615	186,149

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	136,637千円	133,531千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	91,333	12.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	106,554	14.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	8,555,902	-	8,555,902	-	8,555,902
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	87	2,450,192	2,450,279	2,450,279	-
計	8,555,989	2,450,192	11,006,181	2,450,279	8,555,902
セグメント利益	548,259	145,777	694,036	518,857	175,179

(注)1. セグメント利益の調整額 518,857千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 506,892千円及びたな卸資産の調整額 1,004千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	8,319,458	-	8,319,458	-	8,319,458
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	203	2,509,748	2,509,951	2,509,951	-
計	8,319,661	2,509,748	10,829,409	2,509,951	8,319,458
セグメント利益	472,712	77,747	550,459	657,353	106,894

(注) 1. セグメント利益の調整額 657,353千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 639,338千円及びたな卸資産の調整額 4,348千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期 純損失金額()	9.27円	8.32円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	70,538	63,308
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損 失金額()(千円)	70,538	63,308
普通株式の期中平均株式数(株)	7,611,105	7,611,039

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月12日

株式会社あじかん
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小松原 浩平 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 千々松 英樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社あじかんの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社あじかん及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。